

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	京都迎賓館参観経費			担当部局庁	迎賓館	作成責任者			
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	迎賓館京都事務所	事務所長 堀金真理			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	観光立国推進基本計画 観光ビジョン実現プログラム2017				
主要政策・施策	観光立国、一億総活躍推進			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	迎賓館は国公賓等の接遇のための施設としての性質上、非公開を原則とする一方、国公賓等が利用していない一定期間に限り、無料で特別に公開してきたところである。本事業は、平成28年度より、国有財産を有効に活用する観点から、現役の迎賓施設として文化的価値を維持しつつ、我が国の伝統的技能が数多く活用された施設の魅力を広く国民及び世界へ発信し、観光立国にも資することを目的に一般公開を有料で行っているものである。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	平成28年7月21日から、接遇に支障のない限り、通年で有料で一般公開を開始した。多くの参観者が集まる時期には自由参観方式、その他の時期については係員が館内を案内するガイドツアー方式にて公開を実施している。このため、大量の参観者の受付・誘導、館内警備等の一般公開運営業務やインターネットによる応募の抽選業務を民間企業に委託するとともに、多言語(日・英・中・韓[一部日・英])による展示パネル・リーフレット、多言語音声端末等を導入した。参観者に対するアンケートを実施して、不満点の解消に努めるとともに、外国人向けガイドツアーを実施した。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	237				
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	13	12	259	285	0		
	執行額	13	12	120					
	執行率(%)	100%	100%	46%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	100%	46%					
	平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由				
迎賓施設業務庁費		285							
計		285	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
								32年度	-年度
	参観者の満足	一般公開の参観者のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合	成果実績	%	-	-	4.2	-	-
			目標値	%	-	-	-	7	-
達成度			%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	京都迎賓館一般公開における参観者アンケート調査								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	①参観者数 ※自由参観方式、1日当たり	活動実績	人	-	-	1,064	-	-	
		当初見込み	人	-	-	2,000	2,000	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	②参観者数 ※ガイドツアー方式、一日当たり	活動実績	人	-	-	615	-	-	
		当初見込み	人	-	-	750	750	-	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	活動実績	当初見込み						
③外国人参観者数	活動実績	人		-	-	1,430	-	-
	当初見込み	人		-	-	-	5,000	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	参加費用／参観人数	単位当たり コスト					円	-
		計算式	/		-	-	119,976,639/95,310	-

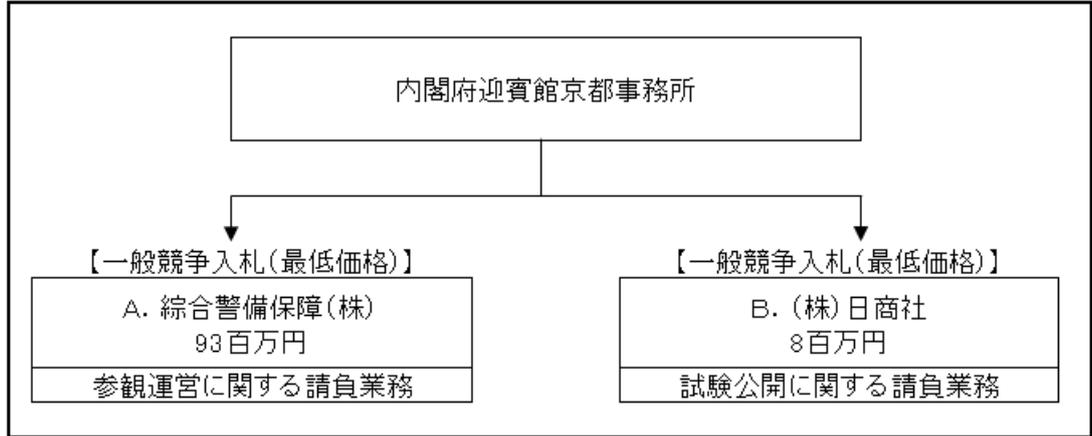
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	17. 迎賓施設の適切な運営							
		施策	①迎賓施設の適切な運営							
	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 32年度	目標年度 -年度
		京都迎賓館の一般公開における一日当たり参観者数の平均〔自由参観方式〕	実績値	人	-	-	1,064	-	-	
			目標値	人	-	-	-	2,000	-	
		定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 32年度	目標年度 -年度
		京都迎賓館の一般公開における一日当たり参観者数の平均〔ガイドツアー方式〕	実績値	%	-	-	615	-	-	
			目標値	%	-	-	-	750	-	
	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 32年度	目標年度 -年度	
	京都迎賓館一般公開における参観者のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合	実績値	%	-	-	4.2	-	-		
目標値		%	-	-	-	7	-			

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国有財産の有効活用や観光立国に資するなどの確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国の迎賓施設であり、民間等に委ねることができない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	観光立国推進基本計画(平成29年3月28日閣議決定)に定められた事業で必要かつ適切な事業であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、一般競争入札を原則としており、競争性に問題は無い。結果として一者応札になってしまったものはあるが、次年度分の調達の際は、更に分かりやすい仕様や十分な公告期間の確保等に努める。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	参観者から参観料を徴収しており、妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	参観料からみて水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	一般公開の公開日数が予定を下回ったこと等のため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	上記のほか、恒常的に必要となる物品の一部についてはレンタルではなく購入し、ランニングコストを軽減させている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	不満足割合は4.2%であり、概ね見合っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みに見合ったものとなった。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	

事業連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
点検・改善結果	点検結果	国有財産の有効活用や観光立国に資することを目的に、接遇に支障のない範囲で可能な限り、通年で有料で一般公開を実施した。(平成28年度の実績は、日数125日、参観者数約95,000人) 一般競争入札を行い競争性の確保に努め、また、参観者に対するアンケートを実施し、不満点の解消に努めた。			
	改善の方向性	参観者が来館できる機会を拡大するため、一般公開の公開日数の一層の確保に努める。 また、コストの抑制について、施設への影響による維持管理費の増の見直しや参観者の満足度向上に必要な経費も勘案し、参観料のレベルも含めて検討する。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
<p>【過去の公開プロセス評価結果】 平成28年度 100 京都迎賓館参観経費 【評価結果】事業内容の一部改善 【コメント】迎賓館は新たに観光資源として位置付けられ、参観は賓客接遇という本来業務とは期間を区分けして対応することとなる。その際の参観者への対応と賓客の接遇機能との調整を十分に図りながら、これを進める必要がある。本件の参観経費についてはまだ過渡期ではあるが、従来の限定した公開時の対応や契約形態等にとらわれることなく、通年公開によって増えるコストの抑制について、参観料のレベルも含めて検討していく必要がある。 【対応状況】事業概要に述べたとおり、一般公開運営業務等を民間に委託するとともに、多言語対応を含め、参観者の満足度向上に努めた。この結果、平成28年度の実績は、公開日数125日、参観者数約95,000人となり、参観者の満足度も高い結果となった。コストの抑制については、施設への影響による維持管理費の増の見直しや参観者の満足度向上に必要な経費も勘案し、参観料のレベルも含めて検討していく。</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0137	平成23年度	0157	平成24年度	0151
平成25年度	0107	平成26年度	0105	平成27年度	0112
平成28年度	0100				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

【一般競争入札(最低価格)】	単位:百万円
C. (株)アローズネクスト	2.04
合計	2.04

インターネットによる受付、抽選処理、応募者への通知等

【随意契約(少額)】	単位:百万円
D. (株)アートアンドパート	0.31
E. (株)アイビー・インターナショナル	0.24
F. 龍村美術織物	0.06
G. SCL	0.03
H. クリエイトサービス	0.01
合計	0.73

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.総合警備保障(株)			B.(株)日商社		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	人件費・会場経費	警備要員・運営スタッフ・諸経費	92.8	人件費・会場経費	警備要員・運営スタッフ・諸経費	8.5
	計		92.8	計		8.5
	C.(株)アローズネクスト			D.(株)アートアンドパート外5者(100万円未満)		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)	
人件費	データ整備	2				
計		2	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	総合警備保障(株)	3010401016070	参観運営に関する請負業務	93	一般競争契約 (最低価格)	3	--	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)日商社	7130001022057	試験公開に関する請負業務	8	一般競争契約 (最低価格)	3	--	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)アローズネクスト	8010401099029	インターネットによる受付、抽選処理、応募者への通知等	2	一般競争契約 (最低価格)	1	--	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)アートアンドパート	8011001053648	音声ガイドのコンテンツ修正	0.3	随意契約 (少額)	-	--	

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)アイビー・インターナショナル	9130001019613	リーフレットの翻訳	0.3	随意契約 (少額)	-	--	

F.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	龍村美術織物(個人)	-	展示パネル作成	0.1	随意契約 (少額)	-	--	

G.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(有)SCL	8130002013896	電話応答ナレーション作成	0	随意契約 (少額)	-	--	

H.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	京都カンプリ(個人)	-	看板作製	0	随意契約 (少額)	-	--	